

授業ノートの作り方・授業や宿題に関する心構え

1. 授業を受けるときに用意するもの（1教科あたり）

- 筆記用具
- 2リングバイNDER（フラットファイルやペーパーファスナーでも OK）
- 練習用ノート（練習用。ルーズリーフがおすすめ）
- 解説用ノート（白板で解説を受けた内容を記入する。ルーズリーフ OK）
- スティックのり、または水のり（テープのりもよいですが高いです。）

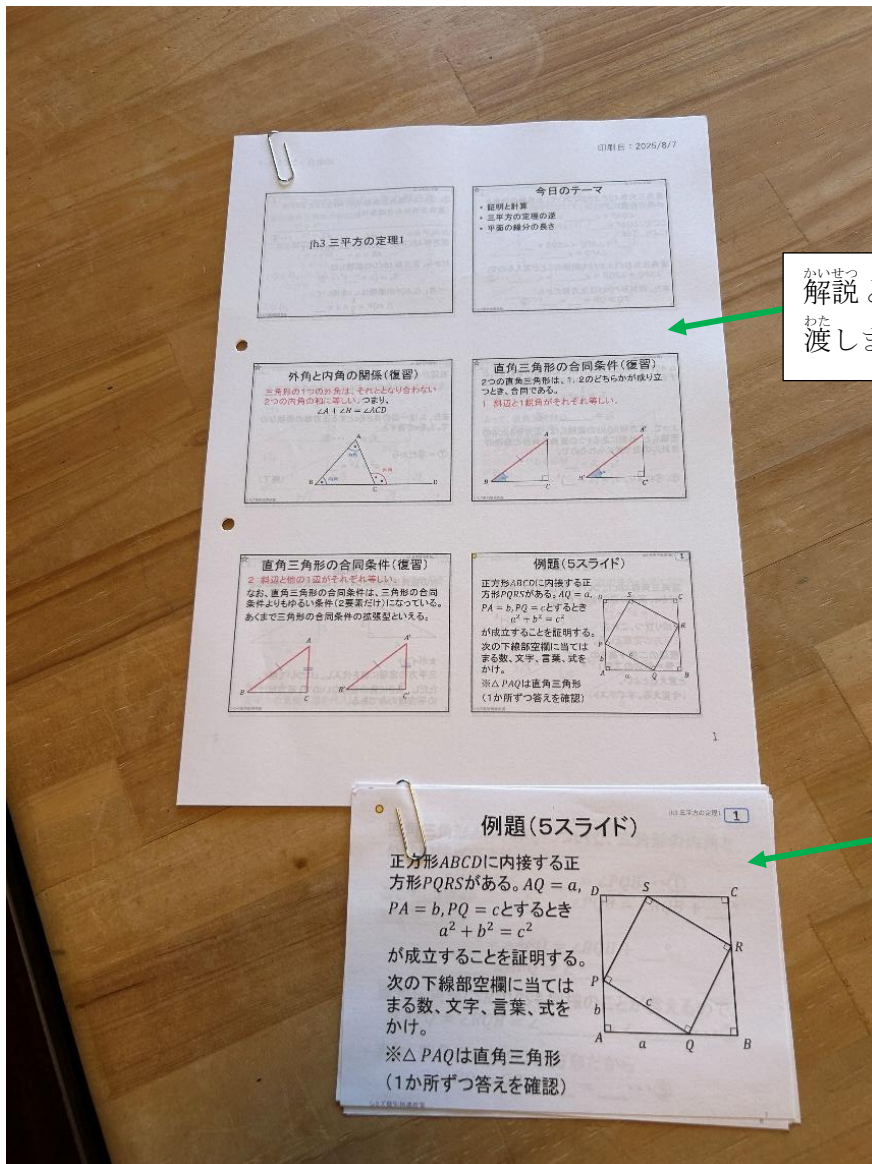


バイNDERはペ
ーパーファス
ナーなども構
いません。

2. 授業での配布資料

配布する資料は次のような「解説+問題」の冊子です。

直接、問題用紙に書いて練習するものを別に渡すことがあります。



解説と問題が入った冊子を
渡します。

直接、問題用紙に書いてもら
うときは、別に A6 サイズの紙
を渡します。

3-1. 配布資料中にある解説資料の見方

配布資料には左上に「★」のマークが入っているものができます。これが解説用の資料です。問題を理解するためのまとめが書いてあります。見直しや宿題をする前などのときに確認してください。授業資料の見方は次のとおりです。

★が解説用 (左上)	テーマ	単元名 (右上)
------------	-----	----------

★

角度1

角度

直角を90等分した1つ分を1度といい、 1° と書きます。度は角の大きさを表す単位です。
角の大きさを角度ともいいます。



18

スライド番号 (右下)

※パワーポイントのスライドの番号です。資料は解説用スライドと練習用スライドのみをお渡しします。ページはとびとびになっていますが、番号の小さい順に使ってください。

3-2. ホワイトボードの^{うつ}写し方^{かた}

はくばん^かに書いてあることや講師^{こうし}から受けた説明^{せつめい}は、解説用^{かいせつよう}ノートにまとめましょう。

(講師^{こうし}の説明^{せつめい}は様々な^{さまざま}考^{かん}え方^がやコツ^{かつ}が詰^つまっています。)

Table:

a	20箱			
b	5本			
c		x箱	21箱	4箱
d		4本	3本	1本

Calculations:

$$x = 48 \div 3$$

$$x = 16$$

$$87 - 39 = 48$$

$$x \times 3 = 48$$

Diagrams:

Diagram 1: A box labeled xy and a box labeled 39 are connected by a line. Below them is a box labeled $x \times y$ and a box labeled 48 .

Diagram 2: A box labeled xy and a box labeled 39 are connected by a line. Below them is a box labeled $x \times y$ and a box labeled 48 .

Text:

図を書く! (Draw the diagram!)

大事! (Important!)

計算の意味を考える! (Think about the meaning of the calculation!)

最終 (Final)

Right Page Text:

図を書いて → 見えるようになる (Draw the diagram → It becomes visible)

xから逆算してyを出す (Calculate y backwards from x)

代入出す → yを出す (Substitute and calculate y)

4-1. 配布資料中にある問題資料の見方

配布資料で左上に「●」のマークが入っているものが練習問題です。これが出てきたら、ノートに大問番号と問題番号を写して、練習を始めてください。

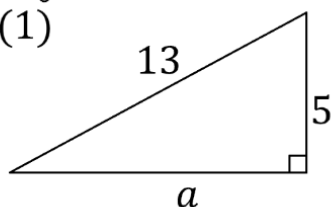
●が練習用 (左上)

大問番号 (右上)

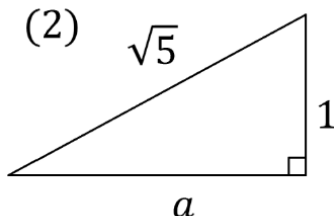
練習

次の直角三角形について、辺の長さ a を求めなさい。

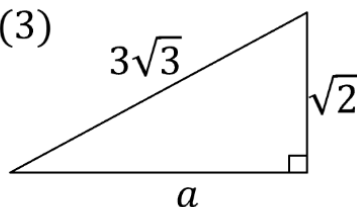
(1)



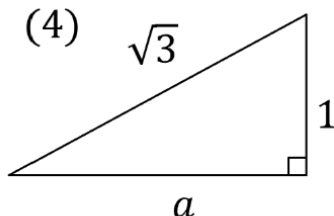
(2)



(3)



(4)



シミズ個別指導教室

28

(練習のときのノートの使い方)

授業が始まったときに単元名を写しておく

①大問番号を写す

②問題番号を写して練習

三平方の定理

(1) $a^2 + 5^2 = 13^2$

$a^2 = 169 - 25$

$a^2 = 144$

$a = \pm 12$

$a > 0$

$a = 12$

(2) $a^2 + 1 = 5$

$a^2 = 4$

4-2. 問題用紙に直接記入する用紙があるとき

問題用紙に直接記入する問題が出てきたら、用紙をノートに貼ってから練習を始めてください。

は が た
貼 り 方

例題(5スライド)

正方形 $ABCD$ 、正方形 $PQRS$ 、 $PA = PQ$ のとき、 $\angle AQP = \angle BRQ$ が成立する。
 次の下線部空欄に当てはまる数、文字、言葉、式をかけ。
 ※ $\triangle PAQ$ は直角三角形
 (1か所ずつ答えを確認)

端を全てのりづけするか、
 上下をのりづけ

水のり、テープのりのときは四隅を
 のりづけしても大丈夫です。

貼れたら、直接答えを書いてください。

直角三角形 AQP, BRQ について、三角形の内角と外角の性質により、
 $\angle QAP + \angle \underline{\hspace{1cm}} = \angle PQB \cdots \textcircled{1}$
 ここで、 $\angle QAP = \underline{\hspace{1cm}}^\circ$, $\angle PQB = \angle RQB + \underline{\hspace{1cm}}^\circ$
 により、 $\textcircled{1}$ は
 $\underline{\hspace{1cm}}^\circ + \angle APQ = \angle RQB + \underline{\hspace{1cm}}^\circ$
 $\angle APQ = \angle \underline{\hspace{1cm}}$

直角三角形 CSR, DPS も同様のことが言えるので、
 $\angle APQ = \angle RQB = \angle \underline{\hspace{1cm}} = \angle \underline{\hspace{1cm}} \cdots \textcircled{2}$

また、四角形 $PQRS$ は正方形だから
 $PQ = QR = \underline{\hspace{1cm}} = \underline{\hspace{1cm}} \cdots \textcircled{3}$

4-3. 宿題の連絡票

宿題には連絡票兼チェックシートをつけます。チェックシートにチェックを入れて提出日に持ってきてください。多くは、授業資料の最後の方に宿題がついています。

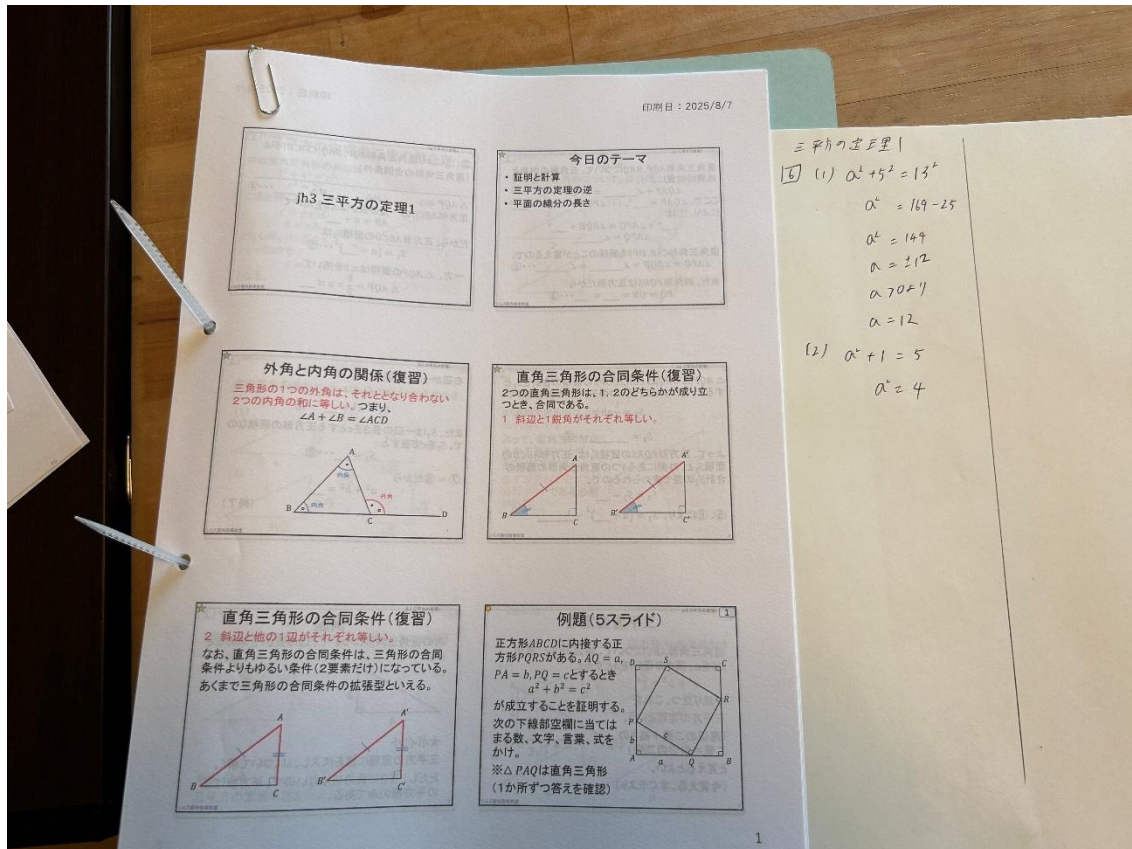
シミズ個別指導教室		連絡票		月 日 作成	
提出日	提出	月 日	単元	授業日	
		次回	不要	大問番号	全部
宿題	<input checked="" type="checkbox"/> 解説(★)やノートをとる <input checked="" type="checkbox"/> 宿題(指定の大問・後ろの宿題) <input type="checkbox"/>				
持ち物	具体的なすべきことがあれば講師が記入します				
連絡事項	<input type="checkbox"/> 担当講師宿題確認済み 連絡票と宿題(ノート)を提出 ※宿題忘れ等で提出しなかったときは、次回に提出				

(記入されたものの例)

シミズ個別指導教室		連絡票		8 月 6 日 作成	
提出	提出	月 日	単元	多項式 1	
		次回	不要	大問番号	全部
宿題	<input checked="" type="checkbox"/> 解説(★)やノートを見て復習 <input checked="" type="checkbox"/> 宿題(指定の大問・後ろの宿題) <input type="checkbox"/>				
持ち物	<input type="checkbox"/>				
連絡事項	<input type="checkbox"/> 担当講師宿題確認済み 連絡票と宿題(ノート)を提出 ※宿題忘れ等で提出しなかったときは、次回に提出				

5. つづり方

授業が終わったらバインダーやフラットファイルに「授業資料」「練習ノート」の順につづります。



6. 宿題に関する心構え (効率的な学習に向けて)

- 前回の解説は、宿題をやるまえに必ず見直してください。
- 宿題は、授業の日から早めに終わらせてください。遅くなるほど習熟は悪くなる上に時間がかかります。

7. 学校では

塾で習ったからといって学校の授業をサボってはいけません。授業はしっかり聞きましょう。学校では先に演習が終わるなどして待ち時間が出たとしても、「他の生徒に教える」、「教科書を見直したり問題を通じて復習したりする」、「自分で問題を作ってみる」、「応用問題にチャレンジする」などして授業に参加してください。

8. その他の注意事項

- 余った資料は家に持って帰ってください。
- 少人数授業を受けている場合、練習問題を周囲の生徒よりも先に終えることもあります。先に終わったら、解説を見直して理解を深め、覚えるべきことを覚えるなどして有意義に時間を使ってください。